令和５年度　　授　業　計　画　表　　東奥保育・福祉専門学院

保育　科　1　年

科目名： 子どもの健康と安全	担当教員名： 福多　彩子	使用テキスト：出版社名・テキスト名 診断と治療社：子どもの健康と安全演習ノート

授業の到達目標及びテーマ：　保育の場において子どもたちの健康と安全を守るための知識を深め、医学的根拠の基、一人一人の特性に応じた支援を考え実践することができる。

授業の概要：　様々な保育の場において、的確な医学的知識と実践能力を備えた子育てパートナーとして、個別性のある支援ができるよう学びを深める。

回	項　　目	内　　容
1 10/5	第1章　保健的観点を踏まえた保育環境および援助を知ろう	①　子どもの健康と保育環境：１．子どもの健康を守る保育環境　２．保健的観点を踏まえた保育環境
2 10/12		②　子どもの保健にかんする個別対応と集団全体の健康及び安全の管理：１．子どもの保健にかんする個別対応の基本　２．健康診査（健康診断、健診）　３．体調変化の際の個別対応　４．集団全体の健康および安全の管理
3 10/19	第２章　保育における健康および安全の管理について知ろう	①　衛生管理：１．施設環境　２．屋内の衛生管理　３．屋外の衛生管理
4 10/26		②　事故防止および安全対策：１．子どもの事故防止の重要性　２．子どもの事故の特徴　３．発達段階別の怪我や事故の種類と発生場所　４．事故防止のための具体的な方法　５．事故後の精神的支援　６．安全対策
5 11/2		③　危機管理と災害への備え：１．保育における危機管理　２．保育における災害への備え　３．安全教育
6 11/9	第３章　子どもの体調不良などに対する適切な対応を知ろう	①　体調不良や障害が発生した場合の対応と応急処置：１．体調不良時の対応　２．傷害時の応急処置　３．事故にあったときの対応　４．薬の投与の仕方　５．病院受診時の対応
7 11/16		②　救急処置および心肺蘇生法：１．救急処置　2．子どもの心肺蘇生法
8 11/29	第４章　子どもがよくかかる感染症の対策を知ろう	①　感染症の集団発生の予防：１．子どもがよくかかる感染症の症状と対応　２．感染症の流行予防のための対策
9 12/7		②　感染症発生時と罹患後の対応：１．出席停止期間の基準　２．感染症罹患後の対応　３．保護者および他職種・自治体との連携
１０ 12/14	第５章　保育で必要な保健的対応を知ろう	①　保育における保健的対応の基本的な考え方：１．保育活動における保健的な視点　２．食事における保健的対応　３．排泄における保健的対応　４．睡眠時における保健的対応　５．外出時における保健的対応　６．保育行事における保健的対応
１１ 12/21		②　3 歳未満児への対応：１．乳児の抱き方　２．おんぶのしかた　３．食事の与え方　４．口腔内の衛生　５．衣服の着せ方　６．排泄のさせ方　７．保清、沐浴・入浴のさせ方　８．寝かせ方　９．外出時の注意　10．おもちゃと固定遊具　11．ベビーカー、自動車、自転車の乗せ方
１２ 1/18		③　個別的な配慮を要する子どもへの対応：１．慢性疾患や障害を持つ子どもの保育　２．医療費などの援助　３．低出生体重児・早産児で生まれた子どもの養護　４．アレルギー疾患を持つ子どもの養護　５．神経・筋疾患を持つ子どもの養護　６先天性心疾患を持つ子どもの養護　７．泌尿器疾患を持つ子どもの養護　８．血液疾患を持つ子どもの養護　９．代謝・内分泌疾患を持つ子どもの養護　10．悪性新生物（悪性腫瘍、小児がん）を持つ子どもの養護　11．心身症の子どもの養護
１３ 1/25		④　傷害を持つ子どもへの対応：１．子どもの在宅医療支援　２．医療的ケア児の養護　３．肢体不自由児の養護　４．呼吸障害児の養護　５．嚥下障害児の養護　６．視覚障害児の養護　７．聴覚障害児の養護　８．発達障碍児の養護
１４ 2/1	第６章　健康および安全の管理の実施体制を知ろう	①　保育における保健活動の計画および評価：１．保健計画作成の根拠　２．保健計画作成の手順　３．保健活動の実践
１５ 2/8		②　保健活動における職員間の連携・協働と関係機関との連携：１．保健活動における職員間の連携・協働　２．保健活動における医療機関との連携

参考書・参考資料等：「医療的ケア児支援者養成研修テキスト」　末光　茂・大塚　晃監修　2017 年　中央法規出版
「子どものための精神医学」　滝川　一廣著　2017 年　医学書院
「少子化時代の保育と教育」「保育園の子育て支援」　坂﨑　隆浩著　2017 年　株式会社　世界文化社
厚生労働省ホームページ　統計情報・政策

学生に対する評価方法：　１・期末試験　２．授業態度　３．出席状況